

Monthly

QRコード対応
WEB電話付き

コロンパス

2011

1
JAN

680円

e-コロンパス1月号増刊
昭和50年3月26日発行
平成23年1月1日発行
発行所 株式会社コロンパス

ビジネスの新大陸を発見!! **COLUMBUS**

恒例新春知事アンケート 47都道府県知事が語る不況脱出の秘策!!

「地域主権」に未来はあるか!?



ゲスト
海江田万里
(内閣府特命担当大臣
(経済財政政策・
科学技術政策担当))

ネットアンテナショップ「コロンパス・ハウス」

24時間
営業中

■1日60万人がアクセスするWeb版
「スポーツ報知」とリンク!!

<http://www.npo-furusato.or.jp/>

■Web版スポーツ報知のトップページ
「ふるさと情報便」をクリック!!

<http://hochi.yomiuri.co.jp/>

◆編集長のまちおこし行脚
2011年の地域経済のキーワードは
「起業塾」と「中国人観光客」だ!!

◆特選銘柄・編集長インタビュー
「ローカル線と地酒」がコラボして
全国共通銘柄「鉄の道」が続々誕生!!

ゲスト・佐藤謙吉(千葉大学大学院都市環境システム学科学科教授)

◆華北特報・新華僑インタビュー
医療ガイドを養成して
中国人の「医療観光」を盛り上げたい!!

ゲスト・陳敏(日中医療交流センター所長・眼科医師)

◆トップ金計人
美容室業界や不動産業界の蓄財でプランニングに成功!!

ゲスト・入江成雄(入江会計事務所所長・税理士)

◆コロンパス編集部(澤川伸博)が得意街
独自のポイントカードとお祭りで商店街を元気にする!!

◆マンガ・まち一番むら一番(島根県浜田市)

「石見神楽」で迎春!!「神楽のまち」づくり!!

◆沿線産業(京急大塚線)

川崎大師行「初詣電車」に乗って新年「公益産業」めくり!!

◆開き手

本誌編集長 池田信乃
(元・JTB東証会理事兼
事業部長)

地回り経済対談



テレビ脱却をはかるとして
強い日本経済をつくる!!

(株)アールシーエス

関・東

群馬県

安くて安全であたがたい！ 遠赤外線ヒーターのシェア拡大へ

「省エネ・安全・安心」を空気を乾燥させないといった理由で人気の遠赤外線ヒーター。アールシーエスの遠赤外線ヒーター「暖室」は360度全方位に熱を放射できるのが特徴。世界初の技術として話題を呼んでいる。

同社はほとんどプリンターのインクリボンやA4Mの端末を製造してきたが、「不況の煽りもあり受注が減ってきたので自社製品の開発に力を入れた」と話すのは社長の宮下信雄さん。

開発した「暖室」のアイデアが生まれたのは、新商品開発会議でのことだった。当時、同社はハネル製の遠赤外線ヒーター「夢暖室」を開発して売り出し中だった。会議では「夢暖室」で部屋を温めたいが、壁上一ハネル製のヒーターではパネルが向いている方向しか温められ



遠赤外線ヒーターで新事業を切り出した宮下社長



360度放射可能な「暖室」

ず、寒がっている社員がいまいた。ならばヒーターを円柱型にして部屋の中心に置けば、部屋全体を温められるのではないかと、いったアイデアが出されたそうだ。

宮下社長は「そく商品開発に着手。が、思いのほか円柱型の遠赤外線を放射させるのは大変だったそうだ。おかげで安全版では定評があり、「暖室」は販売から8年経った今でもロングセラーとなっている。

ところで、この赤外線ヒーターの開発を通じて宮下社長は「良い商品を開発するだけでは売れるものにはならない」とを実感したという。「販路の開拓には大変苦労しました。卸では大手に値段をいじられてしまうので、独自に販路を切り拓くことにした」と。

チャレンジしたのは通販会社への営業と自社サイトによるネ

ット販売だった。もちろん、SEO対策なども徹底しておかげで、ウェブからの注文が飛躍的に伸びたという。「なかには1世帯で10台入るという方もいる」とのこと。「今後はより遠赤外線ヒーターの需要を高め、さらなるシェア拡大を目指す」としている。いけいけの躍進起業家だ。



新事業開発を推進する宮下社長

「暖室」の成功は、BtoC市場を中小で開拓するのは困難です。それは成功させたのは、社員自らのアイデアと高い技術力、そして中小ならではの温度調節の精度に保った技術、安全対策も完璧。本気で働く企業です。

社長のひとこと	社長の自社採点
<p>0177-2020009 0177-2020009 0177-2020009</p>	<p>企業能力★★★★☆ 営業力★★★★★ 成長力★★★★★ 収益力★★★★★ 地域貢献力★★★★☆</p>
<p>会社概要</p> <p>本社：群馬県高崎市森田162-1 0274-24-0117 設立1979年・資本金1000万円 http://www.yumedan.com/</p>	<p>人材力★★★★☆ リテラシー★★★★☆ 計画性★★★★☆ リスク管理★★★★☆</p>

地元の元気企業に聞きました

神奈川県

地域経済の現状と今後

普通 → 上向き

電子部品を運ぶ際に使用するキャリアアンプの金型を製造している。電子部品業界は、全体の落ち込みはありますが、最近人気のスマートフォンなどの分野は好調です。しかし、国内の製造業者にとっては海外生産に負けない特徴を打ち出さなければなりません。国内で生き残るには「低価格＝短納期」の高品質の3拍子が必要です。短期間で求められる試作品などの製造はまだ国内に利があります。当社は大量生産となる海外生産には頼らず、当社では金型製造とプレス加工の両方を手がけることで、他社との差別化をはかっています。これは、1社だけでは限界があるので、今後は他社との連携も視野に入れています。



(株) Sawada 澤江 一郎

会計士の眼

規模を縮小しつつ、勝機を伺う



川島 洋一
川島洋一事務所
(東京都中央区)

昨年は大手企業がなにか盛り返し、利益を出しはじめたが、そのいい流れが中小企業まで下りてくるのがなかった。そういつた状況とくに関係は、広告、建設業界に顕著だった。今年もその流れが続いていくことが予想される。法人相手のビジネスのみを展開しているというところも、サイトが長く、状況に対応していくのが得意な状況になり、価格も

厳しくなっている。動きの軽い企業は、徐々に個人向けのサービスに切り替えはじめているところも、多い。よく知る派遣業者では、これまで大規模なオフィス移転を請け負っていたが、個人の引越しに小規模オフィスに的を絞る。手元資金の運用に力を入れている。経営者たちに聞くとは、どうにか先が見えないところがあるという。1つ聞いて、1つに長期スパンで先を見通してビジネスを展開することなどは、余計な不安を招くところ。なれるだろう。銀行返済やスケジューリングし、出ていくお金を減らしながら、その月、その日にしっかりと仕事をこなしながら、状況に対応していくのが得意な状況